

クス・木本性つる類の防除に

## 林地用除草剤

農林水産省登録第21217号

# ケイピン<sup>®</sup> エース

(イマザピル含浸)

有効成分：イソプロピルアンモニウム=(RS)-2-(4-イソプロピル-4-メチル-5-オキソ-2-イミダゾリン-2-イル)ニコチナート・本剤10本  
当り100mg

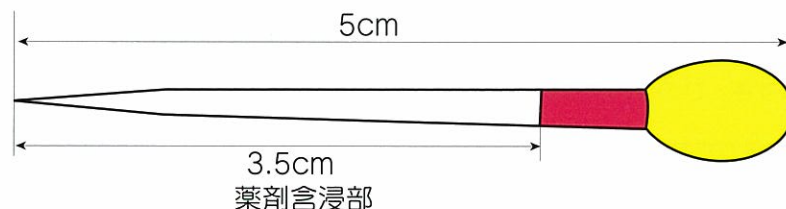
形状：長さ約5cmの先端部が尖った木針

®は登録商標です



ケイピンエースは、通常の除草剤とは全く異なったユニークな「**除草材**」で、強力な殺草力をもつイマザピルを木針(楊子状)に浸み込ませ、特殊な製剤に加工しており、最も難防除とされる「クス・木本性つる類」枯殺の専用剤として開発されたものです。

**色をつけていない部分に薬が浸み込んでいます。**  
(イマザピル)



イマザピルは水に溶け易く、溶け出して杉・檜が吸収すると薬害がありますので、薬剤部分がつき出たり、刺し込み不足で雨露に当たらないように **赤い部分が少し埋まる迄刺してください。**

### ■特長

本剤は、除草剤イマザピルを木針(楊子状)に浸み込ませた除草材で、その主な作用性は次のとおりです。

- 1.ごく微量の有効成分を根株に施用することにより、クス・木本性つる類全体を防除することができます。
- 2.特殊製剤(木針製)であり、持ち運びに便利で能率的に作業することができます。
- 3.一年中使用でき、効果の差はありませんが、根株のみつけやすい秋～春(冬期)に処理するのが能率的です。



★ラベルをよく読む。★記載以外には使用しない。★小児の手の届く所には置かない。

## △ 適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	イマザビルを含む農薬の総使用回数
すぎ (下刈り代用) ひのき (下刈り代用)	—	クズ	萌芽期 ～生育期	一株当たり1～3本	—	クズの根株、又はなるべく根元に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。	—
林木	造林地	木本性 つる類		つる径(cm) 本数(本) ～3.0 1～2 3.1～5.0 3～4 5.1～6.0 5～6 6.1以上 7～		つる類の地際に近い位置にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。	
樹木等	公園、庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面等	クズ		一株当たり1～3本	1回	植栽地を除く樹木等の周辺地のクズの根株、又はなるべく根元に近い茎にあらかじめ本剤を差し込むために適当な穴をあけ、本剤を葉の露出部全部がかくれるように差し込むこと。	1回

### 根株処理 1



つるが立上って出ているときは、下段のつるの下部に根株の中心部に向かってケイビンエースの赤色部までさしこむ。

### 根株処理 2



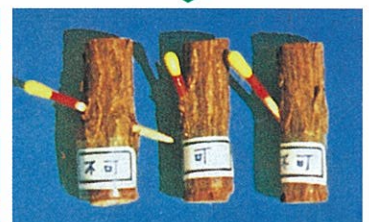
つるが1本または2本以上地表に平行に出ているときは、根株の中央部に真上からケイビンエースの赤色部までさしこむ。

### 根株処理 3



くずの根株径が地上露出部で5～6cm以下のものはケイビンエース1本、それ以上のものには2本両側よりケイビンエースの赤色部までさしこむ。

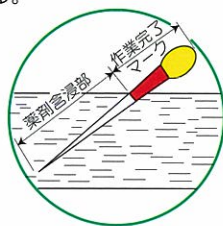
### つる(茎)処理



つる径1cm以上のもの(ある程度木質化したもの)なるべく根株に近いところに茎を突きぬけないよう斜めにケイビンエースの赤色部までさしこむ。  
ただし1cm程度の茎に処理する場合は、ケイビンエースを折り2本のつるに分けて使用する。

## △ 効果・薬害等の注意

- 本剤は非農耕地及び造林地(すぎ、ひのき)の下刈り代用として使用する。
- 本剤は根株にさすのが最も効果的である。
- つる(茎)にさす場合は直径が1cm以上のものにさし込む。但し下刈り代用の場合は直径3cm以上の株のみ処理し、つるへの処理はおこなわない。茎葉散布剤処理後残った大株に処理するようにする。
- 処理後、本剤が抜けて落ちると造林木に薬害を生ずる恐れがあるので、簡単に抜けないよう適当な太さの錐などで穴を空けてさし込む。
- 使用時期は通年でよいが、根株のみつけ易い秋～春が効率的である。
- 薬剤が雨、雪などで流れ落ちると造林木に薬害発生の恐れがあるので、薬の露出部が全部かくれるようさし込む。
- 降雨、降雪中での使用は避ける。



- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用方法、使用条件(土壌条件など)を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は林業関係機関等の指導を受けることが望ましい。
- 本剤処理の前後に処理株のつる切りを行うと、切口の溢泌水によって植栽木に薬害を生ずることがあるので注意する。

## △ 安全使用上の注意

- 使用の際は不浸透性手袋などを着用する。
  - かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
  - 公園、堤とう等で使用する場合は、処理中及び処理後(少なくとも処理当日)に小児や処理に関係のない者が処理区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
  - 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。
- 保管…直射日光をさけ食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管。

●空容器は放置せず、環境に影響を与えないように適切に処理する。

お問い合わせは

TBP2013-4

販売: **ISK** 石原バイオサイエンス株式会社  
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号  
ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>  
石原テレホン相談室 0120-1480-57

製造

**保土谷アグロテック株式会社**  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-4-1 常和八重洲ビル9階  
TEL03-5299-8225(大代表) FAX03-5299-8285